

私立短期大学図書館協議会

会報

Bulletin of Junior College Library Association

発行者：安部 壘 巳
 発行所：私立短期大学図書館協議会
 〒151 東京都渋谷区代々木3-22-1
 文化女子大学短期大学図書館内
 電話：03-3299-2195

1997. 2 No. 40

◇平成8年度短期大学図書館全国研修会開催◇

参考業務と書誌一

講演：調査用具としての書誌

社会福祉：「しあわせ」の学問を支えるために

環境問題：環境情報へのアクセスをテーマに講義と演習

日 時 平成8年11月21日(木)～22日(金)
 会 場 日販社会議室(新お茶の水ビル)
 テーマ 参考業務と書誌
 講 師 東田全義氏(慶應義塾大学福沢研究センター)
 松澤実氏(東洋大学附属大学図書館)
 佐藤雄也氏(環境庁国立環境研究所環境情報
 センター)
 参 加 77名
 主 催 私立短期大学図書館協議会

第1日目、安部会長の開催挨拶とオリエンテーションの後、講義に入った。講義内容は、東田全義氏の「調査用具としての書誌」、松澤実氏の「社会福祉—「しあわせ」の学問を支えるために」、佐藤雄也氏の「環境問題—環境情報へのアクセス」で、要旨は下記の通り。なお、各講義の詳しい内容は「短期大学図書館研究17号」に掲載される。2日目、参加者は9グループに分かれ、会場に用意された各種の書誌を使って、与えられた課題を解決していく演習の取り組んだ。最後に、解答をグループごとに発表し、講師の先生方から評価、指導を受けた。

また、1日目の5時30分より、同ビル21階の「銀座アスター」にて懇親会が開かれ、講師の先生方や知り合ったばかりの仲間となごやかに歓談した。

◇道具としての書誌

東田全義氏

1. 書誌(Bibliography)の定義 国内外でも統一的な見解

があるわけではないが、①書誌学②文献目録③図書を記述すること④文献目録を使って調べるなどにまとめることができ、「調査用具としての書誌」は、これらがかみ合っていると思われる。良い辞書には、必ず典拠が示してあるが、それだけでは答えきれない参考質問がある。書誌は、質問に対する解答に深みを与え、求めるものがどこに繋がっているのか、絡み合っているのかを追跡できるように示すことができる。「書誌」とは、図書館員が常に手元に置き、日常的に慣れ親しみ、何かある時、立ち戻ってくる原点となるものである。

2. 類義語の用例和・英・独・仏の「Bibliography」についての比較等の話があった。

3. 書誌の環境 メッセージの集合が一冊の図書であり、図書の集合が図書館、図書館の集合としての図書館ネットワークという階層ができていく。書誌を道具として使う調査は、それなりの知識が必要であり、求める主題の書誌にはどのようなものがあるのか、質問の適した文献はどれか、さらに文献の中から解答を見いだしていくと



いう手順がある。また、解答としての情報の形が、どのような形で存在しているのかを、主題、年代、言語から追跡していかなければならない。同時に、一時資料を評価する目と、書誌の知識として、収録範囲がどうなっているかを知っておくことは、体系的に書誌を収集するときにも役立つ。利用者の中には、書誌で文献の存在を確認できても、自分の図書館にないと使えないという不信感のある人がいるが、図書館ネットワークなどを利用して所蔵を確認してもらうなど、書誌を道具として使うという方法を、参考業務の中でいろいろと工夫していただきたい。

4. 収録範囲から見た書誌の種類
5. 書誌利用事例についての詳しい説明があった。

◇社会福祉－「しあわせ」の学問を支えるために－ 松澤 実氏

「社会福祉」、それは「社会全体の幸福・繁栄」という定義の始まり、福祉を学ぶということは、具体的に実践できる方法を探ることなのだとする。その対象者は、不幸な人、幸せになりたい人であり、経済的困窮者、子供、老人、障害者、家庭崩壊者、難民等があげられる。この対象者からも分かるように、社会福祉学には、経済学、心理学、教育学、老年学、医学、工学、国際関係、法律、行政等々、たくさんの領域が関連して来る。参考業務の

実際には（資料収集等も含めて）、以上のことを押さえておかなければならない。続いて、参考業務の実際の話となり、(1)用語 (2)事項 (3)統計数値 (4) 法律を調べる (5)専門機関に紹介するの5点について、具体的なツールをあげながら説明、最後に、国立大学への「文献複写料金徴収猶予許可申請書」の書き方が紹介された。

◇環境問題－環境情報へのアクセス－

佐藤雄也氏

環境問題とは、経済、人間、資源と関わる問題であり、ために、全てが環境問題となってしまう面がある。分野が広すぎるということに探索の困難が生ずる。欲しい情報を手に入れるためには、まず、課題の具体化、自分は何を求めているのか、明確化することが最初のステップとなる。次のステップは、それが、環境問題の分類のどこにあるかを調べることである。大項目から、小項目へ、事例を挙げながら説明がなされ、特にキーワード事典の活用が強調された。

最後に、最低限、年鑑・辞書のような基礎的なデータの載っているものは、どこの図書館でも備えて欲しいという要望が出された。また、二日目には、「環境庁国立環境研究所環境情報センターの環境情報提供システム」の概要説明もなされた。

平成8年度 短期大学図書館全国研修会アンケート集計実施

日時：平成8年11月22日（金）

回答枚数：73枚（参加者数77名・回収率95%）

1. 図書館での経験年数（回答数70/73）

1年未満…… 8名	1～3年…… 19名	あるそれ以前…………… 8名
4～5年…… 10名	6～10年……17名	ある不 明…………… 3名
11～15年……9名	16～20年……6名	※以前に参加したことのある人の参加回数（27名中）
21年以上……1名	無回答………3名	1回…………… 20名
		2回…………… 2名
		3回以上……………5名
2. 今回の参加費（回答数73/73）

公 費…… 73名	私 費……………0名
-----------	------------
3. あなたは、以前にも当研修会に参加したことがありますか？（回答数73/73）

※複数回答含む

ない ……………46名	ある 1995年…………… 8名
ある 1994年……………10名	ある 1993年…………… 7名
ある 1992年…………… 7名	
4. あなたの図書館の参加回数は？（回答数64/73）

毎回……………18名	5～7回……………13名
3～4回……………15名	2回……………6名
初めて……………12名	無回答…………… 9名
5. 今回の研修会のテーマについて（回答数68/73）

・時代に即したテーマで、大変参考になった。	……………21名
-----------------------	----------

- ・福祉関係の学科がある（または、開設予定）ので参考になった。……8名
 - ・社会福祉・環境問題とも質問の増えてきているテーマで参考になった。……15名
 - ・普段はあまり扱わない（専門の学科がない等）テーマなので勉強になった。……10名
 - ・その他
6. 今回の研修会の講義について（回答数53/73）
- ・わかりやすい・面白かった・よかった。……24名
 - ・眠かった・講義の数が多い。……4名
 - ・講義らしい講義、実践例、双方のよさがあった。……3名
 - ・講義時間が長い。……2名
 - ・その他
7. 今回の研修会の講師について（回答数47/73）
- ※複数回答含む
- ・理解しやすい説明だった。……15名
 - ・よかった。……11名
 - ・三人のそれぞれの専門分野の話が聴けてよかった。……3名
 - ・その他
8. 今回の研修会の演習について（回答数62/73）
- ※複数回答含む
- ・よかった、勉強になった。……11名
 - ・時間が短かった。……15名
 - ・時間にゆとりがあった、適当だった。……3名
 - ・書誌の数が少なかった。……11名
 - ・書誌の数が適当だった、多かった。……6名
 - ・その他
9. その他（全体について・感想など）（回答数52/73）
- ※複数回答含む
- ・大変勉強になった。……14名
 - ・他館の人と交流できてよかった。……12名
 - ・ご苦勞様、続けてもらい参加したい。……10名
 - ・交流（情報交換）の場がもっと多くてもよい。……2名
- ・その他
10. 今後の研修会のテーマについて（回答数35/73）
- ※重複回答含む
- ・政治・経済学……5名
 - ・情報関係……5名
 - ・幼児教育……4名
 - ・心理学……2名
 - ・女性問題……2名
 - ・文学全般……2名
 - ・社会科学全般……2名
 - ・その他
11. 今後の研修会の講師について（回答数18/73）
- ・特になし、任せる……5名
 - ・話上手な人。……2名
 - ・理論だけを述べるタイプではない人。……2名
 - ・一人は図書館関係以外の人。…2名
 - ・その他
12. 今後の研修会の開催時期
- ・その他について（回答33/73）
- ※複数回答含む
- ・今のままでよい。……15名
 - ・特になし。……4名
 - ・6月。……1名
 - ・8月（夏休み中）……2名
 - ・その他

研修会に参加して。

大阪信愛女学院短期大学図書館 金森 陽子

この研修に参加することで、改めて参考業務について考えさせられました。参考業務といえば、資料を探しながらも、本当にこんな回答でいいのだろうかと思うこともしばしばです。三人の先生方の丁寧でわかりやすい講義は、知識を得ると同時に、反省させられることも多々ありました。どの講義でも言われたように「相手が何について調べるのかをきちんと把握するように」という当たり前のことが、今までなおざりになっていて、ある程度で勝手に判断していたように思います。講義だけでなく実際資料を手にとり演習を行ったということは、非常に良い経験でした。ベテランであろうが新人であろうが、参考業務において質の高い回答をするには、このような研修はいい機会だと思います。たとえ、自校ですぐにいかせずとも、研修を積み重ね、研修会で学んだ1つ1つを大切に、できることから今後の業務にいかせればと思っています。最後に、これだけの準備をしてくださりました役員の方、講師の先生方に感謝致します。

地区活動報告

〔北海道地区〕

地区協議会1996年度研修会

日時 平成8年8月28日(水) 10:00~17:40

会場 ホテル札幌ガーデンパレス

一概要一

1 講演「北大を中心とする大学図書館スーパーネットワークの現状と課題」

北海道大学附属図書館専門員である宇野弘純氏を講師に迎え、インターネットと学内LANを駆使した北大附属図書館の情報サービスシステムが紹介された。

2 話題にそった情報交換

- ①図書館による選書方法について
- ②学外からの寄贈本の受入基準について
- ③図書費購入本の除籍状況について
- ④洋書、AV資料の整理について

以上4つのテーマについて各館での状況、工夫、問題点などの情報を交換した。3テストケース研究部会の発足紹介地区協議会の下部組織として研究部会を置くことは決定していたが、いよいよ実働に向けて、テストケースとして発足した「利用者教育研究部会」が紹介された。今後はリーダーの木村修一氏(釧路短大)を中心に活動を進めていくこととなった。

テストケース研究部会第1回ワークショップ

日時 平成8年12月9日(月) 16:00~19:00

会場 北海道自動車短期大学図書館

一概要一

6館より9名が参加し、利用者教育への取り組みについて現状や工夫を披露しあった。

各館とも新年度までに、①最低1テーマのパスファインダーを作成すること、②従来の図書館新入生オリエンテーションに何らかの工夫を凝らし、発表の形をとることを課題とした。

〔東北地区〕

1. 平成8年度総会

日時:平成8年9月28日(土) 13:00~14:00

会場:三島学園女子短期大学

出席者数:15館21名(委任状6館)

課題:①平成7年度活動報告

- ②平成7年度決算報告及び監査報告
- ③平成8年度活動方針案及び予算案審議
- ④平成8年度全国理事会報告

⑤その他

①②は報告通り、③は原案通り承認された。また、⑤では総会と研修会の開催日時と曜日を再考すべきことが提案された。

2. 平成8年度研修会

総会に引き続き研修会を開催した(14:00~16:30)。新規加盟館が増えたことや協議会が20周年を迎えることから、全国協議会の安部豊巳会長と事務局の平井紀子理事をお招きして、「私立短期大学図書館をめぐる情勢」(安部会長)、「これからの短大図書館—個性化と活性化をめざして—」(平井理事)という演題でお話をいただいた。講演終了後質疑応答を行ったが、予定の時間を超過するほどで、各館の抱える課題の多様さをうかがわせるものであった。(菅並茂樹)

〔関東甲信越地区〕

6月21日(金)

第3回幹事会

○総会反省

○合宿研修会について

9月10日(火)

合宿研修会下見調査

9月20日(木)

会報第22号発行

9月24日(火)

第4回幹事会(目白学園総合図書館)

○合宿研修会の準備について

○その他

10月20日(日)

合宿研修会事前準備のために宿泊

21日(月)合宿研修会開催

場所:那須塩原(栃木県)

第1日目共通テーマ:「21世紀の図書館に向けて」
—新しい時代の利用者教育—

内容

1. 基調講義 講師:仁上幸治氏

(早稲田大学国際部図書館)

テーマ:よくわかる利用者教育実践講座

—方法手段の企画から実施まで—

2. 事例報告とディスカッション

①レポート・卒業研究のための図書館利用教育

二橋雅子氏(東京文化短期大学図書館)

「私立短期大学図書館総覧1996」正誤表

本総覧の作成にあたり、十分に注意したつもりでしたが、1997年2月3日現在、以下の訂正が見つかりました。「総覧1996」の標題紙の前に貼付していただければ幸いです。よろしく願いいたします。

大学名	頁	部門	誤	正
札幌大谷短期大学	p.14 p.15	Ⅳ 4 7 7 Ⅺ 4	図書運営委員会 図書館委員規程 資料選考規程 日本DEC	図書館委員会 図書館委員会規程 資料選定規程 丸善
尚綱女学院短期大学	p.63	Ⅸ 1	20,44万円	2,044万円
育英短期大学	p.124	Ⅵ 5	N—LINE	G—LINE
共栄学園短期大学	p.142	Ⅰ 3 Ⅱ 4	経営実務学科 Fax.no.048-761-0569	トル 048-755-2959
武蔵丘短期大学	p.165	Ⅸ 1	6,090万円	609万円
青山学院女子短期大学	p.200 p.201	Ⅳ 5口 Ⅴ 12イ Ⅵ 5 Ⅶ 2a Ⅻ 4d	年4回 学生5,129冊 共用学生31,815冊 国立教育研 条件 ない 整理・閲覧に	年5回 学生31,815冊 共用学生5,129冊 国立教育研究所DB トル 整理し閲覧に
鶴川女子短期大学	p.260	Ⅳ 3	臨時職員2名	トル
戸板女子短期大学(三田)	p.263	Ⅸ 1	13,260万円	1,326万円
東京純心女子短期大学	p.277	Ⅸ 3	寄贈	トル
日本赤十字武蔵野 女子短期大学	p.298	Ⅰ 2 Ⅱ 4	1996 Fax.no.0462-31-0170	1966 0422-31-0170
文化女子大学短期大学部	p.308	Ⅴ 10	MEテナンス日	メンテナンス日
明治大学短期大学	p.317	Ⅸ 1	577,450万円	57,745万円
東海女子短期大学	p.434	Ⅱ 3	各務原市郡加桐野町	各務原市那加桐野町

大 学 名	頁	部 門	誤	正
中日本自動車短期大学	p.436 p.437	II 5	岐阜バス	バス「中日本自動車短大」行 「中日本自動車短大」下車
		III 3	①	イ
		IV 4	髓長	館長
		V 4	(空欄)	なし
		6	(空欄)	9:00~17:00
		7	(空欄)	9:00~17:00
		VII 4イ a	① a b	① a ② b
		IX 5	蔵書の半教近く	蔵書の半数近く
		X 1	使用機器 単	なし
		XI 2 10	b.発注・受入 J-BISC、N-BISC	b.発注・受入 なし
名古屋柳城短期大学	p.508 p.509	IV 2	事務室長	事務局長
		V10	(11月1日)	(10月の第1水曜日)
		IX 5	保育単位のため	保育単科のため
愛知みずほ大学短期大学部	p.515	XI 8	90%	0
高田短期大学	p.522	I 4	11名	27
		5	27名	11
大阪短期大学	p.588	VII 1ハ	b 銀行振込 ① 郵便為替 ② 切手 1,000円以内	① 銀行振込 ② 郵便為替 ③ 切手 円以内
プール学院大学 短期大学部	p.636	I 1	プール学院短期大学	プール学院大学短期大学部
		II 1	プール学院短期大学図書館	プール学院大学図書館
頌栄短期大学	p.664	II 4	電話 078-842-2541	078-842-7093
		VII 1口	電子複写 1枚 20円	10円
筑紫女学園短期大学	p.771	IX 1	26.09万円	2,609万円
長崎ウエスレヤン短期大学	p.817	IX 1	7,400万円	740万円

- ②聖徳大学川並記念図書館の事例報告
古澤義弘氏（聖徳大学川並記念図書館）
- ③和洋女子短期大学図書館の利用指導の現状と展望
長尾典子氏（和洋女子短期大学図書館）
3. 自由討議(1)
4. 懇親会
5. 自由討議(2)22日（火）第2日教養研修
12月16日（月）会報第23号発行
1月21日（火）第5回幹事会（目白学園総合図書館）
○総会準備について
○その他

〔東海・北陸地区〕

1. 平成8年度 第3回幹事会

- 日時 平成8年7月25日（木）13:00～16:00
場所 市邨学園短期大学
出席者 9館16名
課題 (1)平成8年度総大会の総括について
(2)平成8年度犬種会の実施要項について
(3)研修・会報委員会
(4)その他

2. 平成8年度情報交換・研修会

- 日時 平成8年10月8日（火）16:30～19:00
場所 犬山シティホテル（研修会の前日開催）
出席者 16館21名

3. 平成8年度研修会

- 日時 平成8年10月9日（水）10:00～15:00
場所 市邨学園短期大学
出席者 38館49名
テーマ 相互協力
- (1)開会
会長挨拶 市邨学園短期大学図書館長 田中 収氏
- (2)事例報告
1：「愛知学泉女子短期大学図書館の相互協力に対する考え方」
愛知学泉女子短期大学図書館 鋤柄欣宥氏
2：「北陸学院短期大学ヘッセル記念図書館の相互協力について」
北陸学院短期大学ヘッセル記念図書館 飯野昌子氏
- (3)講演
「学術情報センターの現況と今後」一目録所在情報サービス(NACSIS-CAT/ILL)の概要と利用方法—
学術情報センター 大場高志氏
- (4)開会
会長挨拶 市邨学園短期大学図書館長 田中 収氏

4. 平成8年度第4回幹事会

- 日時 平成8年12月6日（金）12:00～14:30
場所 市邨学園短期大学
出席者 9館16名
議題 (1)平成8年度研修会の総括について
(2)平成8年度会報28号について
(3)平成9年度総大会について
(4)その他

〔近畿地区〕

<幹事会>

- 第2回 1996年10月1日（火）13:30～16:30
議題 第3回研修会について
- 第3回 1996年12月10日（火）13:30～16:30
議題 第4回研修会、
短期大学図書館全国研修会について

<研修会>

- 1996年度 第3回
日時 1996年11月1日（金）13:30～16:30
場所 大阪信愛女学院短期大学
参加者 43館66名
テーマ 「図書館システム・パッケージ」の比較
事前のアンケート調査より「図書館システム比較表」を作成し、機能・価格などの比較を行い、各社のデモンストレーションを実際に見学した。（参加業者18社）

<その他>

相互協力を促進し円滑に行うために、「私立短期大学図書館協議会近畿地区協議会相互協力便覧」（1996年7月発行）、「私立短期大学図書館協議会近畿地区協議会加盟館員名簿」（1996年9月発行）を加除式で作成した。

〔中国・四国地区〕

1. 私短図中・四国協ニュースの発行
(1)第11号（平成9年1月30日発行）
平成8年度総会・研修会（7/29～7/30）の概要と、講演・実務研修の要旨を特集
2. 平成9年度総会・研修会の開催について
当番館 下関女子短期大学
期間 平成9年8月7日（木）～8日（金）
（会場・研修内容等については検討中）

〔九州地区〕

1. 機関誌「ニューズレター」No. 2 0
発行 担当館：銀杏学園短期大学図書館

◇「会長からの挨拶」

中九州短期大学附属図書館 館長 旭 啓之

◇「参考業務の基本を学んだ全国研修会」

筑紫学園大学・短期大学附属図書館 進 紀子

◇「図書館学校 インターネット入門」

筑紫学園大学・短期大学附属図書館 山本鉄二郎

◇「新加入館自己紹介」

・聖マリア学院短期大学図書館

・長崎女子短期大学図書館

2. 平成9年度総会・研修会の開催について

期 日 平成9年4月24日(木)

期 間 グリーンホテル錦生館

当番館 鹿児島女子短期大学図書館

東北地区協議会総会に出席して

本部理事 平井紀子

去る9月28日、三島学園女子短期大学(仙台市)で開催された平成8年度本協議会、東北地区協議会総会・研修会に地区理事からの要請を受け、安部会長の随行として出席した。

この日は快晴に恵まれ、東京を10時に発った会長と私は秋の澄んだ風景をゆっくり楽しむ間もなく、お昼にはもう仙台に到着した。三島学園短大は仙台駅から車で10分、虹の丘という仙台市郊外の緑に囲まれた高台にあり、大学と高校を併設した学園である。

1時からの総会では、まず開催校三島学園、上田短大大学長のご挨拶、新規加盟館の紹介、出席者の自己紹介に続き、議事に入り活動方針等が報告、審議された。

2時から研修会に移り、「私立短期大学図書館をめぐる情勢」と題し、安部会長の講演があった。講演の内容は①「私立短期大学図書館協議会のこと」では、本協議会は来年20周年を迎えるが、会の誕生から今日までのあゆみについて話された。会長自らの詳細な説明は新規加盟館はもとより既加盟館であっても初めて総会に出席された方々にはご理解を深めていただけたと思う。②「図書館を抜きにしては進まぬ教育改革」では、18歳人口の減少等、短大をとりまく社会環境の厳しい状況のなかで短大の生き残りをかけて大学はどうあるべきか、いまど

んな課題を抱えているのか、また図書館の果たす役割などを解説された。③「図書館は変わる」では、メディアの多様化のなかで図書館は情報提供マネージャーであるなど、広い視点からの講話は参加者に感銘を与えた。

引き続き、平井からは、まず事務局担当として協議会全体と東北地区協議会の会勢を報告した。東北地区私立短大数29校のうち23校が加盟しており、地区協議会のなかでも最も加盟率が高い地区である。次に、現場の経験を通して「これからの短大図書館」というタイトルで①「情報環境変化と短大図書館の機能—新しいサービス機能(サービス機能の変化)」②「図書館の個性化と活性化をめざして」など日頃考えていることを若干述べさせていただいた。

質疑応答では「紛失図書扱い」「開館時間について」など現場での問題点がフロアから出され、参加校の現状や対応の仕方など活発な意見交換がなされた。それぞれの学内事情は異なるが、少ない館員で精一杯努力している様子が伺えた。どんなに図書館員の思いがあっても一人、二人の館員では限られたサービスしかできない。学校当局が図書館の重要性を認め、実際に機能できるよう土壌造りがなされなければ解決されないであろう。そのためにはいま私たちは何をすべきかが問われているのではなかろうか。最後に三島学園の図書館を見学した。会終了後の懇親会にも招かれ、美味しい蟹料理とお酒を前にして東北地区の方々との交誼を深めた。短い時間であったが、有意義で楽しい一日であった。



事務局報告

会勢 平成9年1月25日現在

北海道	21
東北	23
関東甲信越	105
東海北陸	46
近畿	76
中・四国	30
九州	39
計	340館

新規加盟館紹介

◎＜関東、甲信越地区＞

嘉悦女子短期大学図書館
〒187 東京都小平市花小金南町2-8-4
電話 0424-66-3711

◎＜九州地区＞

九州帝京短期大学付属図書館
〒836 福岡県大牟田市新勝立町4-3-124
電話 0944-57-8333
FAX 0944-55-7703

本部役員会記録

平成8年度 第4回

平成8年9月9日（月）13.00—

場所：文化女子大学図書館

議題

1. 報告事項

1. 会務報告
2. 「短期大学図書館研究」第16号について
3. 会報第39号について
4. その他

JLA常務理事会報告

JLA短大図書館幹部会報告

2. 協議事項

1. 全国研修会について
 - 1) 日程、講師の確認
 - 2) 今後の日程と役割分担

2) その他

2. 短期大学図書館研究第17号の編集について
3. 短期大学図書館総覧1966の編集、発行について
4. その他

注) 会議始める前、全国研修会の案内発送業務を役員全員で行った。

平成8年度 第5回

平成8年10月28日（月）14.00—

跡見学園女子大学短期大学部図書館

議題

1. 報告事項

1. 会務報告 10月8日現在 340館
2. 新規2館加盟
3. 東北地区協議会総会、研修会 本部役員出席
4. 紀伊国屋書店新宿南店オープン 本部役員出席
5. 日本図書館協会常務理事会報告

2. 協議事項

1. 全国研修会について
 1. 参加者状況74名
 2. 研修会日程確認11・21—22
 3. 書誌リストについて
 4. 今後の日程と役割分担
 5. その他
2. 「短期大学図書館総覧」の進行状況

平成8年11月1日発行予定
700部発行
3. 「短期大学図書館研究」第17号の編集について

特集—21世紀の短大図書館を考える—
20年史は本部、地方史とする

平成8年度6回 本部役員会

平成9年1月26—27日

仙仁温泉：岩の湯

議題

1. 報告事項

1. 会務報告
2. その他

2. 協議事項

1. 全国研修会の反省、アンケートについて
2. 「短期大学図書館研究」17号の件
3. 会報40号の件
4. 創立20周年記念事業の件
5. 地区特別助成金の件
6. その他

平成9年度前半日程決まる

- 1) 平成9年度全国理事会
期 日 平成9年5月15日
場 所 未定
- 2) 平成9年度総会 及び
創立20周年記念式典日程決まる
—5月16日紀伊国屋書店南店—
「サザンシアター」で開催
平成9年5月16日（金）
午後1.00～
総 会
式 典
講演会
懇親会 新宿「マイシティー」9階
会 費 8,000円
- 3) 7月23日～24日
私立短期大学図書館担当者研修会
場所：名古屋ガーデンパレス
- 4) 10月29日～31日
全国図書館大会
場所：山梨県甲府市
- 5) 11月下旬 未定
私立短期大学図書館全国研修会
場所：大阪

創立20周年記念研究奨励賞論文募集の件

今回創立20周年を記念し論文を募集いたします。
つきましては、下記の要項にしたがい、会員館の皆様の積極的な投稿をお願いいたします。

記

テーマ 自由
字 数 400字詰原稿用紙40—50枚程度
締 切 平成9年9月末日

*注 10月本部役員会で審査し平成10年度総会で発表し、記念研究論文は「短期大学図書館研究」第18号に掲載する。受賞者には研究奨励金10万円を贈呈する。

「短期大学図書館研究」第17号予告

内容紹介

特集 1：21世紀の短大図書館を考える
特集 2：私立短期大学図書館協議会
地区別20年史と21世紀への展望

本 部

北海道地区
東北地区
関東・甲信越地区
東海・北陸地区
近畿地区
中・四国地区
九州地区

一般論稿

「信州（又は長野県）の図書館・博物館・美術館の
現況と21世紀への展望」

「Topics in Library management」

「図書館という場所」

「岡田健蔵と啄木文庫」

平成8年度全国研修会報告

調査用具としての書誌 東田 全義
社会福祉—「しあわせ」の学問を支えるために—
松澤 実
環境問題—環境情報へのアクセス
佐藤 雄也

付：演習問題一覧

編集後記

今、年度末で新年度に向け、何かと忙しい今日、このごろいかがお過ごしでしょうか。

さて、本協議会は、今年創立20周年を迎え、5月に総会と20周年記念式典、功労者の表彰・記念パーティーなど開催を予定し、本部ではその準備におわれています。20周年を記念し、総覧の改訂版の発行、「短期大学図書館研究」17号では予告通り20年史（本部・地方）を収録、次号会報では、20周年式典特集、また記念論文を募集と事業も多彩に行われます。

今後とも加盟館と共に本協議会にご支援・ご協力をよろしく願います。（菅原）